

明日の授業にすぐ使える How to 書籍^(※)が増えている。また、具体的な方法を学ぶような研修会のテーマも、この近年よく目にするようになった。それは、今年度から、通算8回目の小学校学習指導要領の実施（来年度は中学校）が大きく影響していることと容易に推察できる。

(※)「〇〇入門」や「〇〇の技術」、あるいは「～の進め方」や「～のつくり方」など、

自分の学級の子どもたちにこれらの方法や技が、即当てはまるとは思っていないが、やはり心情的には欲しい情報だ。例えば、「発問をしても発言が決まった子どもだけ、どうすればよいか。」「新型コロナウイルスのための休校明けはよかったけど、最近子どもたちの落ち着きがなくなり、私語が止まらないことが増えたけど。」など、授業者にとっては切実な状況が出てきているのではないかと危惧する。

多くの書籍も研修会は、教育の「質」の向上を願ったり、そのための子ども理解を図ったりする機会としている。そして、多くの教師は、眼前の子どもたちの幸せと笑顔を期待しており、不断の研修に努力している。この「質」の向上について、どのように考えたらよいのだろうか。

実は、現学習指導要領総則編には「質」の向上の表記は24カ所もある。学習の質、教育活動の質、授業等の質、児童の学びの質など、重要度が推察できる。何となくイメージはできるが、曖昧ではないだろうか。

しつ【質】の解説

- 1 そのものの良否・粗密・傾向などを決めることになる性質。実際の内容。
- 2 生まれながらに持っている性格や才能。素質。資質。
- 3 論理学で、判断が肯定判断か否定判断かということ。
- 4 物の本体。根本。本質。

goo 辞書から引用

新学習指導要領のキーワード

- 主体的・対話的で深い学び
- 資質・能力の育成
- 教科等横断的な視点からの教育課程の編成
- カリキュラム・マネジメント

これらを達成させるためには

「質」の向上が重要では？

総則24カ所

知識の理解の質を更に高め	学習の質を一層高める授業
(各学校の)教育活動の質を(の)向上	
教育の質的向上を	授業等の質的な改善を
学習活動の質的な充実	児童の学びの質

例えば、質の良い自動車と言えば、燃費が良い、長年使っても故障が少ない車と言えるかもしれない。しかし、燃費は良くないが車体が安定して、不安が少ないとか、安全装備が充実している、悪路にも対応できるなどを言う場合もあるだろう。つまり、利用者側から見た満足度がかなり

のウェイトを占める。

上にある24カ所の教育活動の質も、全て学習者から見る視点で向上を図ることが肝要であろう。教師の独りよがりの授業や判断のみでこの「質」を評価しないようにしたい。子どもにとって、今日の授業や活動が価値あるものだったか、もっと考えたいものだったか、授業記録や振り返りなどをもとに教師は謙虚に省察したい。これは、長年諸先輩が語り継がれていることで、教師の在り方の一つであろう。心して取り組みたいことである。(芝)